



2018年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2018年1月10日

上場会社名 株式会社ツヴァイ 上場取引所 東
 コード番号 2417 URL <http://www.zwei.com/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)縣 厚伸
 問合せ先責任者 (役職名)経営管理本部長 (氏名)後藤 喜一 (TEL)03(6858)6544
 四半期報告書提出予定日 2018年1月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2018年2月期第3四半期の業績 (2017年3月1日~2017年11月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2018年2月期第3四半期	2,749	△2.9	△177	—	△152	—	△139	—
2017年2月期第3四半期	2,832	—	△18	—	14	—	△5	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2018年2月期第3四半期	△35.47	—
2017年2月期第3四半期	△1.49	—

※当社は、2016年2月期第3四半期は連結業績を開示しておりましたが、2017年2月期第1四半期より非連結での業績を開示しております。そのため、2017年2月期第3四半期の対前年四半期増減率については記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率
	百万円	百万円	百万円	百万円	%
2018年2月期第3四半期	4,747	3,867	3,867	3,867	81.2
2017年2月期	4,713	3,988	3,988	3,988	84.4

(参考) 自己資本 2018年2月期第3四半期 3,854百万円 2017年2月期 3,976百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2017年2月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2018年2月期	—	0.00	—		
2018年2月期(予想)				30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2018年2月期の業績予想 (2017年3月1日~2018年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,800	1.0	60	19.5	90	7.8	40	10.6	10.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2018年2月期3Q	3,944,400株	2017年2月期	3,944,400株
② 期末自己株式数	2018年2月期3Q	298株	2017年2月期	298株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2018年2月期3Q	3,944,102株	2017年2月期3Q	3,941,102株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

わが国では、厚生労働省の人口動態統計によりますと、出生数が死亡数を下回る自然減は11年連続と推計され、人口減少が深刻な社会問題となっております。2017年の出生数は94万1千人で、2年連続で100万人を下回る推計となっております。また、婚姻件数も60万7千組と前年より約1万4千組減少し戦後最少を更新すると予想され、未婚化、晩婚化が人口減少に大きく影響していると考えられます。しかしながら、2015年に実施した第15回出生動向基本調査によりますと、いずれは結婚しようとする未婚者の割合は、男性85.7%、女性89.3%で、依然として高い水準にあります。

当業界におきましては、社会問題解決への期待が日々高まる一方で、お客さまのニーズの多様化と競争激化という波にさらされております。このような状況の中、「幸せな出会いを創造する」ことを経営理念としている当社におきましては、顧客満足度の更なる向上とともに、新規入会者の獲得と成婚以外の理由による退会者を抑制することによって会員数の増加に重点的に取り組んでまいりました。

ツヴァイ事業につきましては、広告宣伝においては、WEBメディアの運用強化に加え、成婚者の声を積極的に訴求することで、当会計期間においても計画を上回るお客さまご応募数となりました。営業面では、お客さまにアプローチし来店日時のお約束を承るご来店受付センターにおいて、オペレーターの増員により夜間時間帯の人員配置を強化しました。また、マリッジコンサルタントの処遇と働き方を見直し、人員確保と教育研修によるスキルアップを図りました。

これらの取り組みによって、お客さまの応募が増加するとともに、応募者の受入体制の整備が進んだことで、当会計期間の新規入会者は前年同期比120.5%と伸長いたしました。また、入会直後3か月間の活動フォロー強化や会員ポータルサイトの機能拡充等の取り組みにより、当会計期間の退会者は前年同期比88.5%と減少いたしました。これにより、新規入会者が退会者を上回り会員数が増加に転じたことで、当第3四半期会計期間末の会員数は上半期末比100.6%と上半期までの会員数減少のトレンドを変えることが出来ております。しかし、依然当期の会員数減少を補うには至っておらず、当第3四半期会計期間末における会員数は前年同期比95.6%となりました。

ライフデザイン事業につきましては、自治体からの受託金額が減少したこととツアー等の実施が当第4四半期以降の開催にずれ込んだことにより当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比88.5%となりました。

パーティ・イベント事業につきましては、ツヴァイ会員向けパーティは、当会計期間の売上高は前年同期比110.2%となりました。しかし、ツヴァイ会員外パーティのチャティオ事業においては、利益率の悪いお見合い型パーティの開催を減らすことで利益を確保する戦略に切り替えたことによりチャティオ事業の売上高は減収となりました。その結果、パーティ・イベント事業の当第3四半期累計期間の売上高は前年同期比78.5%となりましたが、大幅な利益改善となりました。

ウェディング事業につきましては、上半期より受注活動を強化しておりました当社オリジナルの結婚式パッケージ商品「定額マリッジ」による挙式が前年より増加したこと等により、当会計期間の売上高は前年同期比124.5%となり、当第3四半期累計期間の売上高においても前年同期比108.0%となりました。

以上の取り組みにより、当会計期間の売上高は前年同期比102.1%と増収となったものの、上半期のツヴァイ会員数減少に伴う売上高の減少を補うには至らず、当第3四半期累計期間の売上高は27億49百万円（前年同期比97.1%）となりました。経費につきましては、積極的な広告宣伝やマリッジコンサルタントの処遇見直し等により売上原価が増加しており、事業所の閉店による設備費の削減や会報誌の電子化による通信費の削減等に取り組んだものの、当第3四半期累計期間は営業損失1億77百万円（前年同期は営業損失18百万円）、経常損失1億52百万円（前年同期は経常利益14百万円）、四半期純損失は1億39百万円（前年同期は四半期純損失5百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末における総資産は、前期末から34百万円増加し47億47百万円となりました。

流動資産は、前期末から1億14百万円減少し19億28百万円となりました。主な要因は、設備投資や配当金の支払い等のために関係会社預け金1億10百万円の取崩をしたことによるものです。

固定資産は、前期末から1億49百万円増加し28億19百万円となりました。主な要因は、有形固定資産と無形固定資産は減価償却等により減少しましたが、保有株式の時価評価等により投資その他の資産が1億82百万円増加したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末における負債は、前期末から1億55百万円増加し8億80百万円となりました。

流動負債は、前期末から91百万円増加し4億2百万円となりました。主な要因は、新規入会者獲得に向けて媒体を強化したこと等により買掛金が77百万円増加したこと及び賞与引当金が22百万円増加したことによるものです。

固定負債は、前期末から64百万円増加し4億77百万円となりました。主な要因は、保有株式の時価評価等に伴い繰延税金負債が72百万円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末における純資産は、前期末から1億20百万円減少し38億67百万円となりました。主な要因は、四半期純損失1億39百万円、配当金支払1億18百万円等により株主資本が2億58百万円減少したこと、保有株式の時価評価に伴いその他有価証券評価差額金が1億35百万円増加したこと等によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

年間で最も入会者を獲得できる年始からの販売を強化しており、第4四半期においても、会員数増加のトレンドを維持強化してまいります。通期の業績見通しにつきましては、2017年4月12日に公表しました業績予想から変更ありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2017年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2017年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	85,919	68,740
売掛金	538,715	502,559
前払費用	79,446	90,418
短期貸付金	70,000	70,000
繰延税金資産	30,928	84,179
関係会社預け金	1,210,000	1,100,000
金銭の信託	74,000	65,000
その他	25,854	21,456
貸倒引当金	△71,520	△73,886
流動資産合計	2,043,344	1,928,467
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	105,734	103,106
工具、器具及び備品(純額)	105,000	103,822
リース資産(純額)	43,286	35,102
有形固定資産合計	254,021	242,030
無形固定資産		
ソフトウェア	781,616	748,147
ソフトウェア仮勘定	51,705	64,328
電話加入権	3,650	3,650
無形固定資産合計	836,971	816,125
投資その他の資産		
投資有価証券	1,015,574	1,210,688
敷金	342,796	330,696
保険積立金	219,102	219,102
その他	1,649	874
投資その他の資産合計	1,579,122	1,761,362
固定資産合計	2,670,115	2,819,518
資産合計	4,713,460	4,747,985

(単位:千円)

	前事業年度 (2017年2月28日)	当第3四半期会計期間 (2017年11月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	42,944	120,549
リース債務	12,195	12,260
未払金	43,811	43,923
未払費用	92,756	101,407
未払法人税等	—	5,651
未払消費税等	34,952	15,170
前受金	51,321	49,485
賞与引当金	16,270	38,998
役員業績報酬引当金	2,121	1,646
設備関係未払金	776	8,153
その他	14,300	5,249
流動負債合計	311,450	402,495
固定負債		
リース債務	35,569	26,680
繰延税金負債	250,295	322,595
退職給付引当金	55,967	51,231
資産除去債務	71,629	77,049
固定負債合計	413,461	477,556
負債合計	724,912	880,051
純資産の部		
株主資本		
資本金	455,494	455,494
資本剰余金		
資本準備金	461,481	461,481
資本剰余金合計	461,481	461,481
利益剰余金		
利益準備金	60,000	60,000
その他利益剰余金		
別途積立金	2,310,000	2,220,000
繰越利益剰余金	37,455	△130,767
利益剰余金合計	2,407,455	2,149,232
自己株式	△362	△362
株主資本合計	3,324,070	3,065,846
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	652,759	788,363
評価・換算差額等合計	652,759	788,363
新株予約権	11,719	13,725
純資産合計	3,988,548	3,867,934
負債純資産合計	4,713,460	4,747,985

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2016年3月1日 至2016年11月30日)	当第3四半期累計期間 (自2017年3月1日 至2017年11月30日)
売上高	2,832,665	2,749,700
売上原価	1,372,467	1,484,397
売上総利益	1,460,198	1,265,303
販売費及び一般管理費	1,478,650	1,443,091
営業損失(△)	△18,452	△177,788
営業外収益		
受取利息	1,659	1,293
受取配当金	28,481	29,617
その他	3,508	1,797
営業外収益合計	33,649	32,708
営業外費用		
雑損失	1,077	7,271
営業外費用合計	1,077	7,271
経常利益又は経常損失(△)	14,119	△152,351
特別損失		
固定資産除却損	1,446	8,430
賃貸借契約解約損	1,964	7,774
災害による損失	1,933	—
特別損失合計	5,344	16,204
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	8,774	△168,556
法人税、住民税及び事業税	10,885	11,805
法人税等調整額	3,773	△40,460
法人税等合計	14,658	△28,655
四半期純損失(△)	△5,884	△139,900

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

当社は、結婚相手紹介サービス業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。